

## 「健康経営の効果検証と指標」

私たちは地域及び職域の皆様の健康維持増進に貢献することを目的とする会社です。その職責を全うするためにも組織として、さらには従業員自ら健康維持増進活動に努めるよう会社として支援しています。

また、従業員の将来的な疾病リスクに対する予防や、健康の回復による欠勤率の低下、心身の充実、モチベーション向上による業務の効率化や生産性の向上に繋げるための様々な取組みを行っています。

### ■従業員の生産性向上について

従業員が限られた時間の中で生産性の高い働き方を実現するために、異なる部署とコミュニケーションが図りやすいよう様々な取組と環境を整えています。

#### 【取組①】地域清掃

ホスピタリティ委員会の主導で、月に一度、社内および会社周辺の清掃活動を行っています。普段は部署やフロアが異なる上司・部下でも、清掃活動中は趣味や流行の話などコミュニケーションが取れる場にもなっています。

#### 【取組②】同好会

職場以外での従業員の一体感を増すための取組として、家族・OB・OG参加型の同好会（釣り、ゴルフ、ボーリング、ソフトボール）を設立。会社も各同好会へ積極的に支援しています。

#### 【取組③】創業祭 →コロナ禍により開催中止

年に一度、従業員及び従業員の家族を対象にBBQとレクリエーション大会を行っています。レクリエーション大会では、異なる部署が同じチームになるように分かれ、チームごとで大縄跳びなど競い合い、積極的に体を動かしています。

上記取組には過半数以上の従業員が積極的に参加しています。

取組	参加			不参加		
	2022年	2021年	前年比	2022年	2021年	前年比
地域清掃	60%	63%	-3%	40%	37%	+3%
同好会	28%	-%	-%	72%	-%	-%
創業祭	-%	-%	-%	-%	-%	-%

結果、コロナ禍による緊急事態宣言により開催できなかった取組もあったが、地域清掃活動においては、継続して高い参加率を維持することはできた。また継続することで従業員のコミュニケーションが促進されより一体感が増した。

### ■従業員の生産性向上について\_有給休暇消化率

参加の従業員は、有給休暇取得率は増加傾向にあったが、コロナが要因したのか調査開始から初めて参加者の取得率が減少した。しかし、大きく生産性を低下させるまでには至らなかった。

取組	参加			不参加		
	2022年	2021年	前年比	2022年	2021年	前年比
有給休暇取得率	56%	58%	-2%	63%	57%	+6%

■健康経営に関する各指標

	2022年	2021年
<健康投資施策の取組状況に関する指標>		
定期健康診断受診率	100%	100%
定期健康診断後の精密検査受診率	100%	100%
ストレスチェック受検率	100%	100%
労働時間の状況 月 <u>45</u> 時間超 年間延べ人数	76人	85人
労働時間の状況 月 <u>80</u> 時間超 年間延べ人数	1人	1人
休暇取得の状況（年休取得率等）	62%	67%
<従業員の意識変容・行動変容に関する指標>（40歳以上）		
適性体重維持者率（BMIが18.5~25未満の者）	69%	72%
喫煙率	19%	21%
運動習慣社比率（週に2回、1回あたり30分以上）	20%	20%
<健康関連の最終的な目標指標>		
離職率（離職者÷正社員数×100）	13%	3%
アブセンティーズム （傷病による欠勤者数の%：欠勤者÷従業員数×100）	3%	5%
プレゼンティーズム （病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%とした時の損失）	14%	—
ワークエンゲイジメントの状況 （働き甲斐を感じる：自社で独自に定めたアンケート調査を実施、3項目5段階評価の%を測定）	68%	67%
<労働安全衛生に関する指標>		
労働災害（通勤災害）	1件	1件